

長崎がんばらんば国体、長崎がんばらんば大会を終えて
市民の皆さんのおもてなしの取り組み ありがとうございました

昭和44年以来45年ぶりに長崎県で開催された「長崎がんばらんば国体」と、本県初開催となった「長崎がんばらんば大会」は11月3日、同大会の閉会式をもって成功裡に終了しました。両大会の開催に当たりましては、市民の皆さまをはじめ関係者の皆さまに多大なご協力をいただきましたことを、まずもって厚くお礼を申し上げます。

国体の成績も天皇杯獲得(男女総合優勝)という栄誉に輝いたことは、佐世保市出身の選手をはじめ県代表選手の手の長期間にわたる厳しい練習の積み重ねの成果であると思います。選手や競技団体の皆さまのたゆみないご努力に対し、深く敬意を表する次第です。

市民の皆さまには、準備段階からさまざまな取り組みにご協力をいただきました。各県の応援のぼり旗に激励のフレーズや絵を描いていただいたり、会場や街なかに設置するプラントナーに美しい花を植えていただいたりするなど、心のこもったおもてなしの取り組みに多くの皆さんに参加をいただきました。

器を使ったり、大きな声援を送ったりして試合を盛り上げていただきました。県外からの選手たちも大変喜んでおられたとお聞きしています。市民ボランティアの皆さまには各競技会場での清掃活動や案内などのおもてなし活動、障がいのある方へのサポートなど、さまざまな役割を担っていただき、競技運営をスムーズに行うことができました。こうした取り組みは、選手や監督、観覧者の皆さまにとって、不慣れな土地や会場での不安を取り除くことになったと思います。

また、多くの企業の皆さまなどには、協賛という形で市実行委員会を支えていただきました。交通安全や警備業務に当たられた警備会社の皆さまには、国体の関連業務を優先して対応していただき、安全の確保ができたほか、選手や役員員の輸送業務を担当していただいたバス・タクシーのドライバーの皆さまには、無事故・定時到着などに尽力いただきました。宿泊施設や弁当事業者の皆さまには、食中毒防止や選手のコンディション管理などに配慮いただきました。さらに、皇太子さまや三笠宮さまの皆さまの訪問の際には、多くの市民の皆さまにお出迎えやお見送りのご協力を賜りました。

このように、多くの市民の皆さまが、「おもてなしの心」で遠来の選手や関係者の皆さまなどに接していただいたことで、「思い出に残る国体・大会」となり、佐世保のイメージアップにもつながったと確信しています。市民の皆さまや関係者の皆さまに、改めて感謝の意を表し、お礼の言葉といたします。

佐世保市長 朝長 則男

先月号の市長日記で、コフスパー市長の夫クリス・ナイトさんがJR佐世保駅で突然心肺停止になりましたが、その時の適切な対応により、無事に生還されたことを記載しました。このことについて、その時の対応については、AEDや心臓マッサージなど初動対応を的確にいただいたJR佐世保駅の社員の方をはじめ、その場に居合わせた皆さんが協力して救助活動をされたこと、また、残された同行者をホテルに案内していただいたことなどが先月号の執筆後に分かりました。

一刻を争う突然の出来事に対し、その場におられた皆さんが懸命に人命救助に当たられたことをお聞きし、本当にうれしく思いました。今回の救助活動に携わられた全ての皆さまの適切で勇気ある対応に対し、改めて心から感謝の意を表します。本当にありがとうございました。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信

つながりある未来
職業柄、ほぼ毎日のように農村部を回り、農家の人と会話しています。田舎に行くほど、子どもたちはすれ違うたびにあいさつをし、横断歩道でも渡り終えると深々とお辞儀をしてくれます。そこには交番も信号機もいない、平和な日常が穏やかに流れています。物質的な豊かさよりも、精神的な豊かさを日々感じています。農村部では、おじいちゃん、おばあちゃんがいる「家庭」、悪いことを叱ることのできる「学校」、口うるさく言ってくれる近所のおじいちゃんがいる「地域」の三者が連携し、補完し合っています。都市部では、多忙を理由に家庭内のコミュニケーションが少なくなっていたり、批判を恐れて褒めるだけの学校、顔も分からない人ばかりの地域が相互に責任転嫁して自己満

足しているという風潮があるとの報道も目にします。文明によって人の心が退化したのではなく、「モノの豊かさ」の代償に、「ココロの豊かさ」を犠牲にしてきたのだと思います。「昔は良かった」という感傷に浸るのではなく、新しい「つながり」を模索すべきだと思います。そして、そのヒントは田舎の原風景の中にあるのではないのでしょうか。我が社では、歩いている時はもちろん、営業車で走っている時も「子どもたちからあいさつされる前に、こちらからあいさつを」と小さなことの積み重ねの大切さを話しています。佐世保市商工会議所青年部 会長 吉野 英樹



させぼ市政だより キラっ都させぼ

海王から「みらい」へ 九十九島パールシーリゾートに行こう！

海賊船「海王」がことしで引退し、4月から「みらい」が新たに就航。そのほかイベント情報などについて、朝長市長がお知らせします。

放送予定日	放送時間(放送局)
12月 6日(土)	9:25(NBC) 11:40(KTN)
12月13日(土)	10:55(NCC)
12月14日(日)	6:30(NIB)
12月20日(土)	9:25(NBC) 11:40(KTN)
12月27日(土)	10:55(NCC)
12月28日(日)	6:30(NIB)
毎週日曜	18:55(テレビ佐世保)



11月放送の収録の様子。市HPで視聴できます。

12月のプレゼント



「ぎんた巻」を5人に！

西海の幸を国産昆布で巻いて炊き上げたぜいたくな手作りの昆布巻きです。ぜひご賞味ください。 ※応募方法は番組内でお知らせします。

シリーズ「私の3しい」③ 佐世保のおいしい(佐世保バーガー編)



市民お一人お一人に、佐世保の3つの「しい」(美しい、楽しい、おいしい)を持ってもらい、PRしていただく「させぼ観光3しいGO! 作戦」。今回は「佐世保のおいしい」で多くの意見が寄せられた「佐世保バーガー」を紹介します。

- 日本のハンバーガー発祥の地として、味もボリュームも本格派。数々のお店の中から自分好みの佐世保バーガーを探すのも楽しい(26歳・女性)
- お店によってさまざまな味が楽しめる(21歳・女性)
- ハンバーガーの元祖!おいしい(13歳・女性)
- 県外の人にも好評です(74歳・男性)
- おいしさと大きさにびっくり!(25歳・男性)



佐世保バーガー提供店舗を記載した公式「SASEBOバーガーマップ」を配布しています。このほか、毎月3、4、5日には特典がある「佐世保おいしいDAY」協力店でおいしい佐世保グルメをご賞味ください。

佐世保おいしいDAY⇒http://www.sasebo3cgo.jp/ マップなどの配布場所=佐世保観光情報センター(JR佐世保駅構内)、市役所など

観光物産振興局 ☎24-1111

秘書課 ☎24-1111

人の動き

11月1日 現在
●総人口 254,835人(-66人)
男性 119,634人(-4人)、女性 135,201人(-62人)
●世帯数 105,914世帯(-28世帯)
※10月中の動き
転入 516人、転出 564人、出生 222人、死亡 240人

させぼ市政だより

- テレビ
NBC 土曜9時25分~30分、KTN 土曜11時40分~45分
NCC 土曜10時55分~11時、NIB 日曜6時30分~35分
- ラジオ
NBC 日曜 9時25分~30分、FM長崎 火曜 9時5分~10分
FMさせぼ 火曜10時30分~35分・日曜 9時30分~35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜